

### Ⅲ 教科ごとの学力の状況等

# 1 小学校国語

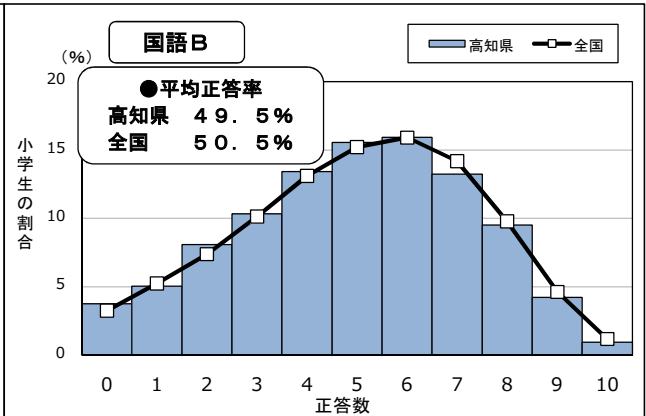
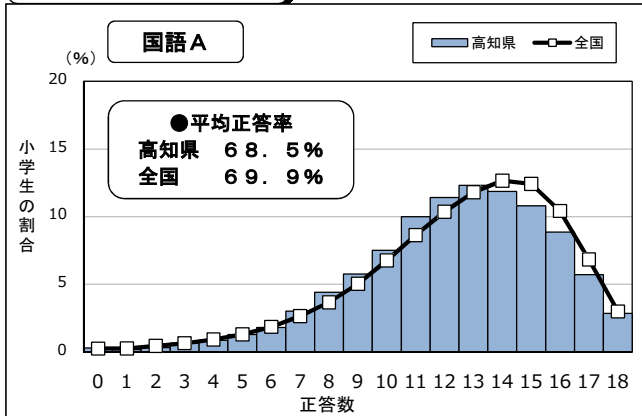
○ 国語A（知識）の平均正答率は68.5%であり、全国の平均正答率69.9%とほぼ同じである。漢字の読み書きは全国とほぼ同じであるが、次のような課題が見られた。

- ・接続語を使って一文を二文に分けて書くこと
- ・ローマ字を正しく読んだり書いたりすること

○ 国語B（活用）の平均正答率は49.5%であり、全国の平均正答率50.5%とほぼ同じである。長い文章を読むことのほか、次のような課題が見られた。

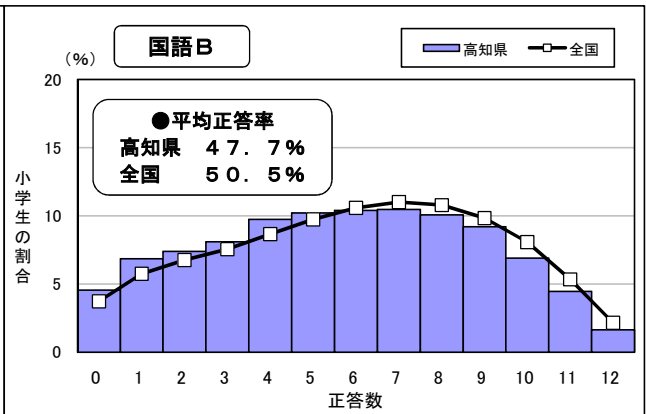
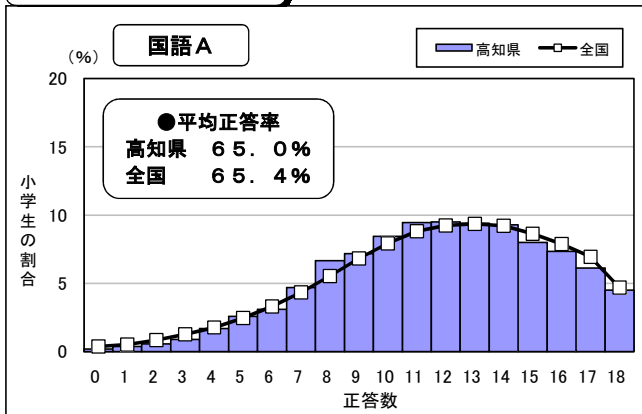
- ・調べる内容を見通して、必要な事柄を整理すること
- ・説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択すること

## 平成21年度

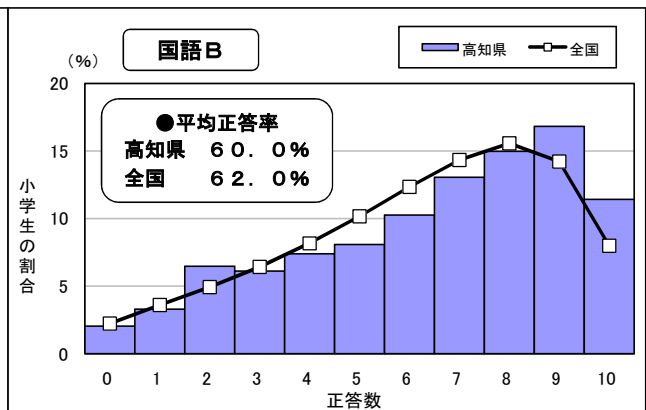
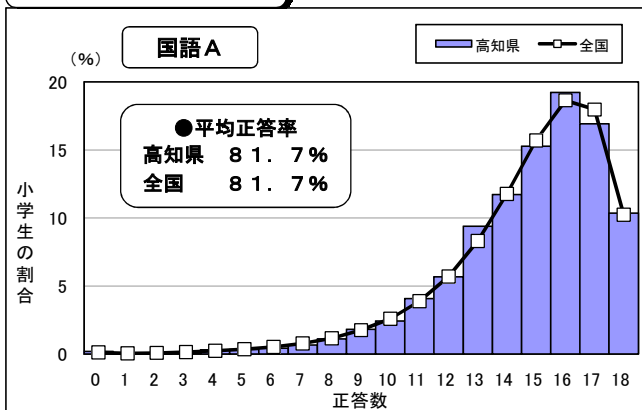


〈参考〉

## 平成20年度



## 平成19年度

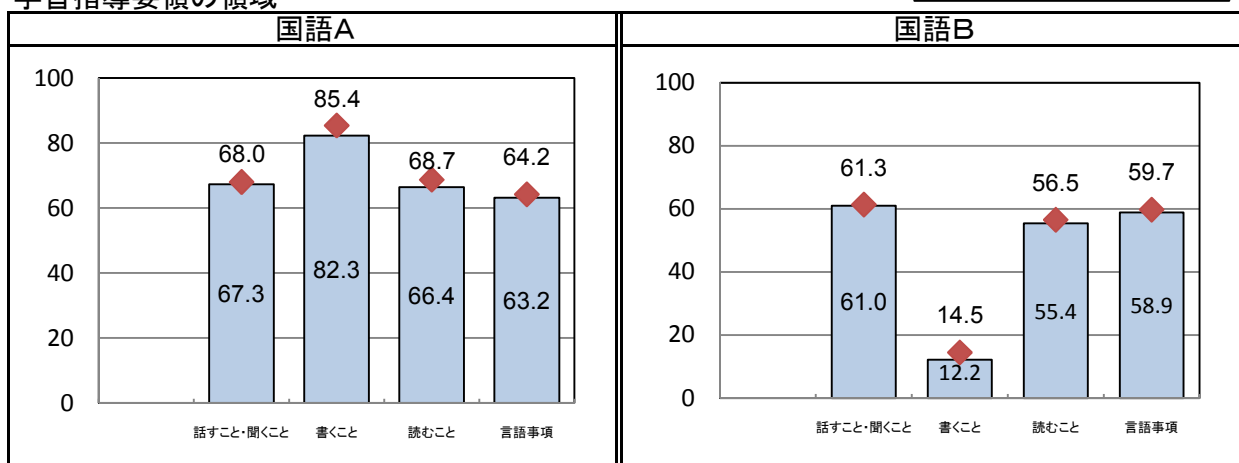


### 【分類・区別の状況】

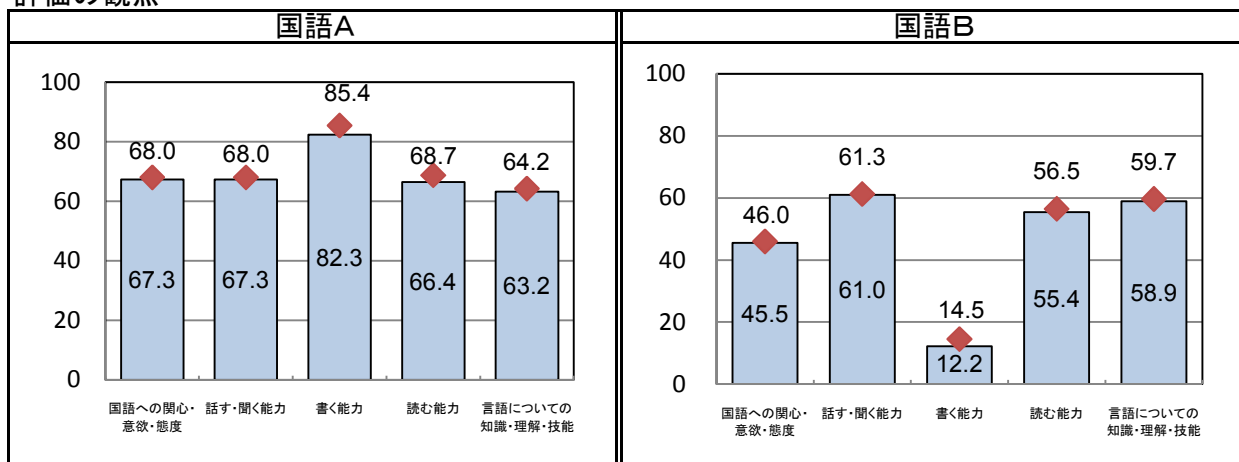
- 領域別では、国語B(活用)の「書くこと」領域で平均正答率が全国平均より2.3ポイント低い。
- 観点別では、「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が国語A(知識)、国語B(活用)とも、全国平均とほぼ同じである。
- 問題形式別では、国語A(知識)の選択式の平均正答率が全国平均から3.3ポイント低い。

### 学習指導要領の領域

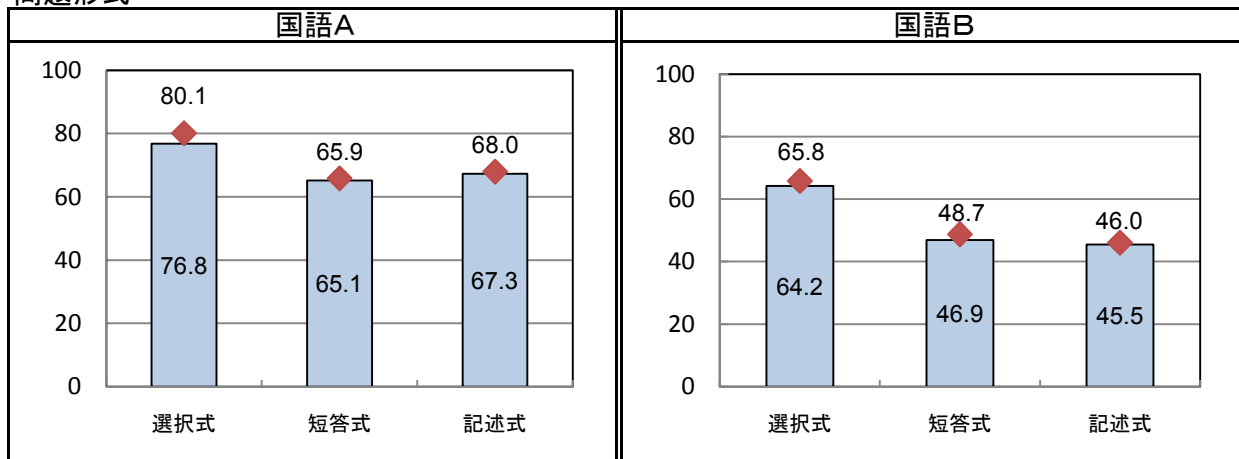
■ 21高知 ◆ 21全国



### 評価の観点



### 問題形式



## 【設問別集計結果 小学校（国語）】

### ■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 －全国正答率	正答率		高知県無解答率 －全国無解答率	無解答率	
						高知県	全国		高知県	全国
1一(1)	漢字を読む(駅は混雑している)	言	言	短	0.6	95.8	95.2	-0.3	1.9	2.2
1一(2)	漢字を読む(春から夏へ季節が移る)	言	言	短	1.9	93.0	91.1	-0.5	1.2	1.7
1一(3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)	言	言	短	1.3	81.3	80.0	-0.5	2.2	2.7
1二(1)	漢字を書く(びょういんに行く)	言	言	短	<b>6.1</b>	82.2	76.1	-2.0	3.9	5.9
1二(2)	漢字を書く(人の意見にさんせいする)	言	言	短	1.8	80.1	78.3	-2.1	6.6	8.7
1二(3)	漢字を書く(重い石をはこぶ)	言	言	短	-0.1	80.5	80.6	-0.5	9.6	10.1
2一1	ローマ字で書く(くすり)	言	言	短	-3.6	65.8	69.4	0.7	12.5	11.8
2一2	ローマ字で書く(たべもの)	言	言	短	<b>-8.8</b>	36.7	45.5	2.6	21.8	19.2
2一3	ローマ字を読む(happa)	言	言	短	-4.6	47.3	51.9	3.8	33.1	29.3
3	はがきの表書きに必要な事柄を選択する	書	書	選	<b>-6.6</b>	60.4	67.0	0.2	0.5	0.3
4ア	実験報告文の小見出しとして適切なものを選択する	書	書	選	-2.6	83.5	86.1	0.2	1.0	0.8
4イ		書	書	選	-1.6	93.1	94.7	0.3	1.1	0.8
4ウ		書	書	選	-1.7	92.2	93.9	0.2	1.1	0.9
5	文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	読/言	読/言	選	-4.0	54.7	58.7	0.2	0.9	0.7
6	図鑑を読んで必要な内容をとらえる	読	読	短	-0.6	78.1	78.7	0.2	5.1	4.9
7	司会の進め方の良いところを説明する	話	関/話	記	-0.7	67.3	68.0	1.0	16.2	15.2
8	接続語を使って一文を二文に分けて書く	言	言	短	0.5	15.2	14.7	-0.4	29.8	30.2
9	毛筆の下書きについて書き直す内容を書く	言	言	短	-3.4	25.6	29.0	2.6	35.9	33.3

### ■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 －全国正答率	正答率		高知県無解答率 －全国無解答率	無解答率	
						高知県	全国		高知県	全国
1一	報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く	書	書	短	-2.5	8.9	11.4	2.1	22.9	20.8
1二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	書	関/書	記	-2.2	15.5	17.7	2.5	15.1	12.6
2一	話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける	話	話	選	0.2	75.7	75.5	0.2	3.2	3.0
2二	「そうじゃ整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	話	関/話	記	0.5	26.2	25.7	1.8	13.5	11.7
3一	説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する	読	読	選	-3.4	52.7	56.1	0.6	9.4	8.8
3二(1)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く	読	関/読	記	-0.3	62.3	62.6	0.8	12.5	11.7
3二(2)		読	関/読	記	0.4	51.3	50.9	0.9	17.3	16.4
4一	作戦カードをもとに、ボールを渡す順番を整理する	話	話	短	-1.1	85.0	86.1	0.4	7.3	6.9
4二ア	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	話/言	関/話/言	記	-0.8	56.5	57.3	0.4	13.8	13.4
4二イ		話/言	関/話/言	記	-0.7	61.3	62.0	-0.4	15.4	15.8

【太字】は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

【白抜き】は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

【課題】

- 話し合いの流れを踏まえ、立場や意図を明確にして話し合うことや、目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫して話す力が身に付いていない。
- 目的や意図に応じて、文章の内容や筆者の考えを的確に押さえて読み、必要な事柄を整理すること、さらにそれらと自分の考えを関係付けて書く力が身に付いていない。
- 目的や意図に応じて、文章の表現の工夫をとらえて読む力が身に付いていない。
- ローマ字や接続語、書写などの言語事項が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 [ ]設問番号>

話し合い・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 説明する目的に応じて必要な情報を整理することは、相当数の児童ができている。 [B 4一]</li> <li>◆ 自分の立場や意図を明確にして話し合うことに課題がある。 [B 2二]</li> <li>◆ 目的や意図に応じて、話の組立てを工夫しながら、図を使って説明することに課題がある。 [B 4二]</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 文章の内容に合わせて小見出しをとらえることは、相当数の児童ができている。 [A 4]</li> <li>◆ はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書くことに課題がある。 [A 3]</li> <li>◆ 報告文に必要な事柄を整理したり、事象や意見などを関係付けながら書いたりすることに課題がある。 [B 1]</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主人公の行動や心情を描写した文章の表現の工夫をとらえることに課題がある。 [A 5]</li> <li>◆ 筆者の表現の工夫や考えをとらえることに課題がある。 [B 3]</li> </ul>
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 今回出題された漢字の読みと書きについては、相当数の児童ができている。 [A 1]</li> <li>◆ ローマ字を正しく読んだり、書いたりすることに課題がある。 [A 2]</li> <li>◆ 接続語を使って一文を二文に分けて書くことに課題がある。 [A 8]</li> <li>◆ 毛筆の下書きについて書き直す内容を説明することに課題がある。 [A 9]</li> </ul>

【正答率が高い問題】

A 1一(1) 漢字の読み(混雑)	[95.8%]
A 4イ 適切な小見出しの選択	[93.1%]
A 1一(2) 漢字の読み(移る)	[93.0%]
A 4ウ 適切な小見出しの選択	[92.2%]
B 4一 必要な情報の取り出し	[85.0%]

【正答率が低い問題】

B 1一 必要な事柄を整理しメモに書く	[8.9%]
A 8 接続語を使って内容を分けて書く	[15.2%]
B 1二 事実や意見を関係付けて書く	[15.5%]
A 9 文字の大きさや配列を整える	[25.6%]
B 2二 立場や意図を明確にして話し合う	[26.2%]

## 指導改善のポイント 小学校

### 【話すこと・聞くこと】

- 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話す指導の充実
  - ・自分の立場を明確にし、事実と感想、意見などを区別しながら説明したり、報告したりする言語活動を充実することが大切である。
  - ・説明や報告をするときには、図表やグラフ、映像や実物などの資料を提示しながら事柄の相互の関係を整理して話したり、それらを聞いて助言や提案などをしたりする言語活動を充実することが大切である。

### 【書くこと】

- 目的や意図に応じて、書く事柄を収集・整理し、事実と感想、意見などを区別しながら書く指導の充実
  - ・調査報告文などを記述するときは、調べる目的や理由、調べる内容や結果、まとめなどを明確にし、それらを関係付けながら文章全体として首尾一貫したものになるように指導を充実することが大切である。

### 【読むこと】

- 漫然とただ文章を読むのではなく、「何のために読むのか、読んでどうするのか」という目的意識をもち、主体的に文章を読もうとする態度の育成
- 目的や意図に応じて、表現の仕方に注意しながら文章の内容を的確に押さえて読んだり、自分の考えを明確にして読んだりする指導の充実
  - ・読んだ本や文章を説明したり紹介したりするなどの目的をもち、登場人物の行動や性格、場面についての描写など表現の工夫（比喻・反復など）に着目して想像を豊かにしながら読む指導を充実することが大切である。
  - ・単に内容を理解するだけでなく、表現に着目しながら必要な部分を繰り返し読んだり、優れた部分を書き写したりすることを重視する。
  - ・筆者がどのような事実を取り上げ、理由や根拠を示し、感想や意見、判断や主張などを行い、読み手をどのように説得したり論証したりしているかなどを理解し解釈する指導が大切である。さらに、筆者の意図や思考を想定しながら、筆者が文章全体をどのように構成し表現しているかを把握した上で、自分の考えを明確にしておくように指導を充実することが大切である。

### 【言語事項】

- ローマ字を繰り返し読んだり、書いたりする指導の充実
  - ・コンピュータを使った学習など関係付けて、ローマ字を繰り返し読んだり、書いたりする機会を増やすような指導を充実することが大切である。
- 文の構成や文と文とのつながりを確かめて話したり書いたりする指導の充実
  - ・単文、重文、複文などの構造で書かれた文の内容を論理的に関係付けたり、長文になった一文を接続語を使って複数の文に分けたりする指導を充実することが大切である。
- 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを整えて書く指導の充実
  - ・読み手への伝達効果を考えて、用紙全体との関係から、大きさ、行間、字間などを整え、文字を丁寧に書く指導を充実することが大切である。

【指導改善例】

設問別分析① 小学校国語A問題 7 話し合いを計画的に進める

7

次は、谷川さんの学校で、地域の人たちとの交流会で行う劇の内容について話し合った様子の一部です。――部は、司会者の進め方の良いところを、どのようなところが良いか説明しましょう。

**【話し合いの様子①】**

谷川 〽(劇の内容について話し合っている)〽  
はい。ぼくたちの町に伝わる昔話がいいと思います。町に伝わる昔話なら、地域のみなさんもぼくたちも楽しめると思うからです。

花田 〽(同じような意見が続く)〽  
わたしは、登場人物の多い話がいいと思います。みんなが登場して、地域のみなさんに顔を覚えてもらいたいからです。

司会 〽(同じような意見が続く)〽  
今、出されている案は、「町に伝わる昔話」と「登場人物の多い話」です。そのほかにはありませんか。〽(しばらく時間をおく)なければ、話し合いを進めようと思います。

全員 〽話し合いが続く〽

《出題の趣旨》

司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進めることができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

A 話すこと・聞くこと (第5学年及び第6学年)

ウ 自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

→新学習指導要領

オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。

《解答類型と反応率 (%)》

解答類型		高知県 (%)	全 国 (%)	正答
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 出された意見を整理し、二つの案を生かそうとしていることに触れている。 ② 次に話し合う内容について確認した上で進行しようとしていることに触れている。 (正答例) ・ 出された二つの意見を合わせて話し合いを進めていこうとしているところが良い。 ・ 次に話し合う内容を全員に確かめて話し合いを進めていこうとしているところが良い。				
1	条件①、②のいずれも満たすか、いずれかを満たしているもの	67.3	68.0	◎
9	上記以外の解答	16.5	16.8	
0	無解答	16.2	15.2	

《結果分析》

- 誤答には、司会の進め方を評価するのではなく、「ぼくは、登場人物の多い話がいいと思います」など、話し合いに参加する立場に立って自分の意見を書いているものがある。また、「話し合いがまとまっている」など、話し合いとしての全体を評価しているものがある。
- 話し合いの具体的な場面に即した司会の進め方の良さをとらえることに課題がある。

## 互いの立場や意図を明確にして、計画的に話し合う

第4学年「くらしの中の世界について話し合おう」(東京書籍「新しい国語4年下」)

### 授業改善のポイント

1 司会の役割を明確にし、話し合いの目的に応じて様々な場面で適切に進行するように、参加者の発言を整理したり、促したり、まとめたりできるように指導する。

2 参加者の役割を明確にし、話し合いの目的に応じて、話し手の意図を考慮しながら聞き、自分の意見と比べて考えをまとめることができるように指導する。

### 授業では

今までの話し合いの経験を振り返り、困ったことやうまくいかなかったことを出し合う。

※ 話し合いでの失敗経験を出すことで、司会の仕方や話し合い方の課題を意識させる。

モデルとなるビデオを見て、司会者・参加者の上手な話し方について出し合う。

※ モデルとなるビデオがない場合は、事前に学級の話合いの様子などを撮影したものなどを見て振り返らせる。

#### 司会者

##### <進行のポイント>

- 話し合う話題を確認しているか。
- 話題からそれないように進めているか。
- 全員が発表できるように進めているか。
- 意見発表後、聞き手側から質問や意見を聞いているか。
- 中立的な立場で進行し、たくさんの人からいろいろな考えを聞くようにしているか。
- 意見の共通点や相違点を整理しながら進めているか。等

#### 参加者

##### <話し合いのポイント>

- 話題に沿っているか。
- 賛成・反対の立場をはっきりさせて話しているか。
- 他の人の意見を踏まえた発言であるか。
- 体験したことや知っていることを例示するなど、理由や根拠を明らかにして話しているか。等

### 身近な問題をテーマや議題として話し合う場面を設定し、評価し合う。

#### I グループ (司会者を評価)

#### II グループ (話し合い)

#### III グループ (参加者を評価)

司会者は、公平に意見を聞いていたね。

話題からそれ始めると、司会者はきちんとテーマを確認し直していたところがよかったです。

司会者→

A C  
B D

Cさんは、AさんとDさんの意見につなげて、自分の考えを言っていたね。

Bさんは、自分の意見を先に述べた後に、根拠を示しながら理由を言っていたのでわかりやすかったです。

※ 司会者や参加者としての話し合いの進め方や発言内容について、ポイントをもとに振り返らせる。

※ 話し合いが停滞したり、対立したりしたときの司会者や参加者の発言の仕方について考えさせる。

※ グループ内で順番を決めて交替しながら、多くの児童が司会者や評価係を経験できるようにする。児童の実態に合わせて、最初は司会を複数で行うことも考えられる。

#### 今後の展開

- ・司会者を立てた小集団の話合い活動は、発達段階に応じて系統的に指導する。
- ・「書くこと」及び「読むこと」の学習や他教科・領域の学習の中で行う話し合い活動と関連付けて指導する。



【指導改善例】

設問別分析② 小学校国語B問題 3 一 二 自分の考えをまとめるために読む

① 「はじめに」の中に書いてある筆者の考え  
「知識」〇〇点、行動〇〇点より、知識五〇点、行動五〇点の人のほうが、  
ずっと立派です。

② 「おわりに」の中に書いてある筆者の考え  
マナーやルールには、もうワンランク上のむずかしい点があるわけですね。

さらに、マナーやルールのむずかしい点は、  
A  
B

【上野さんのノートの一部】

1 筆者が失敗した経験をもとにして、マナーのむずかしさを考えさせている。  
2 筆者の体験と読者の体験のちがいを比べて、マナーのむずかしさを示している。  
3 読者の体験を思い出させて、マナーを具体的な問題として考えさせている。  
4 読者が体験したマナーのむずかしさをかきつけて、具体的な行動の方法を考えさせる。  
1 上野さんは、「はじめに」と「おわりに」の中で書いてある筆者の考えのちがいをノートにまとめた。あとに問いに答えよう。

「おわりに」  
1  
2  
3

「はじめに」  
1  
2  
3  
4

《出題の趣旨》

目的や意図に応じて、効果的な読み方を工夫し、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

C 読むこと（第5学年及び第6学年）

- イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。
- エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。
- オ 必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。

→新学習指導要領

- イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。
- ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読みすること。

《解答類型と反応率（％）》

		解答類型	高知県(%)	全国(%)	正答
一	1	1と解答しているもの	7.9	7.1	
	2	2と解答しているもの	17.2	16.8	
	3	3と解答しているもの	52.7	56.1	◎
	4	4と解答しているもの	12.3	10.7	
	9	上記以外の解答	0.5	0.4	
	0	無解答	9.4	8.8	
二	(2)	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① マナーやルールは、自分の気持ちや行動だけを考えていては、相手とずれてしまうことなどに触れている。 ② 書き出しの言葉を含めて、60字以上80字以内で書いている。 (正答例) ・ (さらに、マナーやルールのむずかしい点は、) 人と人との関係を支えているものだから、自分の気持ちだけを考えて行動しては、相手とずれてしまうという点である。(76字)			
	1	条件①、②のいずれも満たしているもの	51.3	50.9	◎
	2	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	11.0	11.0	
	9	上記以外の解答	20.4	21.8	
	0	無解答	17.3	16.4	

《結果分析》

- 設問一では、筆者は、読者がマナーを身近な問題としてとらえられるように具体的な体験を問いかけるなどしているが、それらを筆者の体験と比べさせたり、筆者が具体的なマナーの方法を教えたりしているものがあるとらえているものがある。
- 設問二(2)の誤答には、「マナーやルールについてもっと知ったり、経験を生かしたりしていけばいいと思う」など、「ワンランク上のむずかしい点」についての説明ではなく、「むずかしさ」を解決するための自分の意見を書いているものがある。「はじめに」と「おわりに」に含まれた「マナーやルールのむずかしさ」について解釈したことを説明することができない児童がいることが分かる。

## 自分の考えを明確にするために、本や文章を効果的に読む

第5学年「インスタント食品とわたしたちの生活」(東京書籍「新しい国語5年下」)

### 授業改善のポイント



意見を支える理由や根拠としてどのような事実を事例として挙げているのか、立論例を通してつかませる学習を構成する。



高学年においては、自分の考えを広げたり深めたりするために、比べ読みや摘読、多読などの効果的な読み方の工夫を選択できるように指導する。

### 授業では

#### 学習の見通しをもつ。

- ① ディベートの映像を視聴し、身近な問題をテーマにディベートを行うことを知る。
- ② 立論例から、主張には根拠となる事実があることを確認する。



「根拠となる事実をさがす」という目的にそって、教材文を読む。

- ③ 賛成側、反対側それぞれの立論が、どのような事実をいくつ事例として挙げ、理由や根拠としているのか、教材文(P.56~P.61)からさがす。
- ④ 取り上げられている事例が、根拠として適切かどうかを考える。
- ⑤ 実際に、教材文を使って立論例を書く練習をする。



根拠となるものを文献資料からさがすために、効果的な読み方を知る。

- ⑥ 自分の立場としての意見をもつ。  
※ 説得力のある理由や根拠を持つ必要性について、気付かせる。
- ⑦ ディベートのテーマにそって、自分の意見の根拠となる事実をさがすために、複数の本や資料を効果的に読む方法について考える。  
※ あらかじめ、多くの本や資料を準備しておく。
- ⑧ 根拠をもとに自分の意見を立論としてまとめる。



#### 【効果的に読むために】

★ 情報を得るために本や資料を読む際には、**見当を付けて読む**。

例

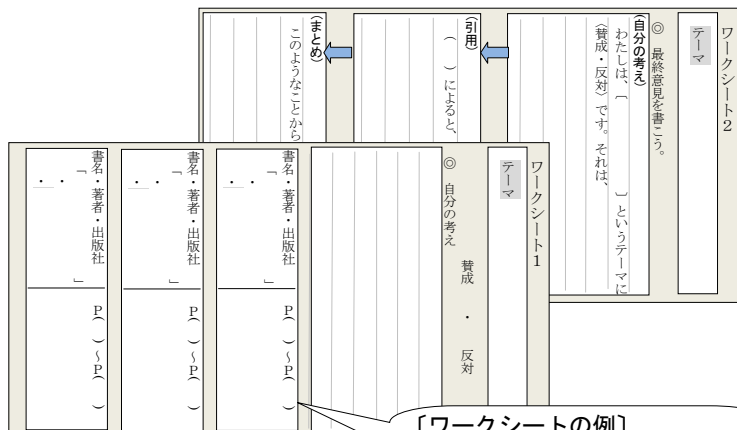
- ・テーマやジャンルに注目する。
- ・題名や目次、索引に着目する。
- ・「はじめ」(まえがき)、「おわり」(あとがき)を参考に内容を予想する。
- ・拾い読みをし、文章全体を概観する。

★ 付箋やメモを活用して、情報の収集を行う。

【立論例】 東京書籍「新しい国語5年下」P.64

**賛成側立論の例**  
ぼくたちは、インスタント食品は積極的に使うべきだと考えます。  
まず、インスタントとは、いつでも、最近のものはとてもおいしくて、家で作る料理と変わらないと言っていますが、料理はただ食べるのができればいいのでしょ、例えば、夕食のとき、インスタント食品はかりがならんでいたらどうしよう、きつと、ごつかりすると思います。……  
もう一つは、価格が安くすむという点です。いろいろな材料を買って余ったとしても、すててしまうわけはありません。余ったものは、別の料理に使うことができます。……

**反対側立論の例**  
インスタント食品は積極的に利用したらよいという四つの理由のうち、特に二つの点について反論します。  
まず、最近のものはとてもおいしくて、家で作る料理と変わらないと言っていますが、料理はただ食べるのができればいいのでしょ、例えば、夕食のとき、インスタント食品はかりがならんでいたらどうしよう、きつと、ごつかりすると思います。……  
もう一つは、価格が安くすむという点です。いろいろな材料を買って余ったとしても、すててしまうわけはありません。余ったものは、別の料理に使うことができます。……



【ワークシートの例】  
「引用」する際は、出典や自分の考えとの関係を明らかにする。

ディベートをする。

## 2 中学校国語

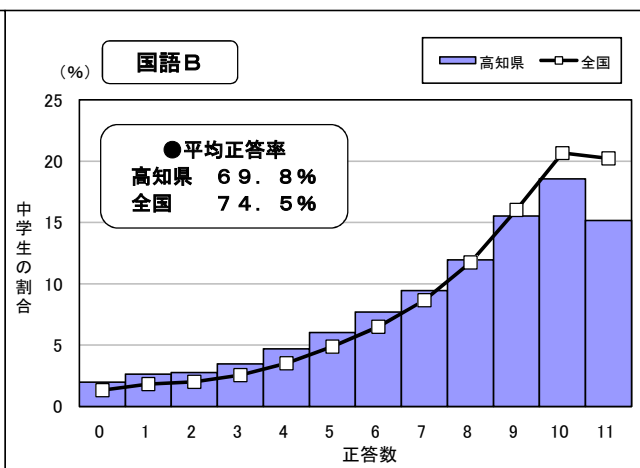
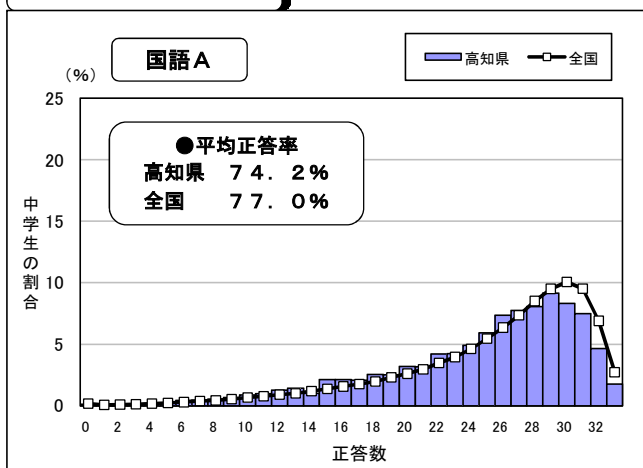
○ 国語A（知識）の平均正答率は74.2%であり、全国の平均正答率77.0%と比べやや低い。文脈に即して漢字を書くことや語句の意味の理解のほか、次のような課題が見られた。

- ・短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむこと
- ・主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くこと

○ 国語B（活用）の平均正答率は69.8%であり、全国の平均正答率74.5%と比べやや低い。条件に応じて必要な情報を選び、整理することのほか、次のような課題が見られた。

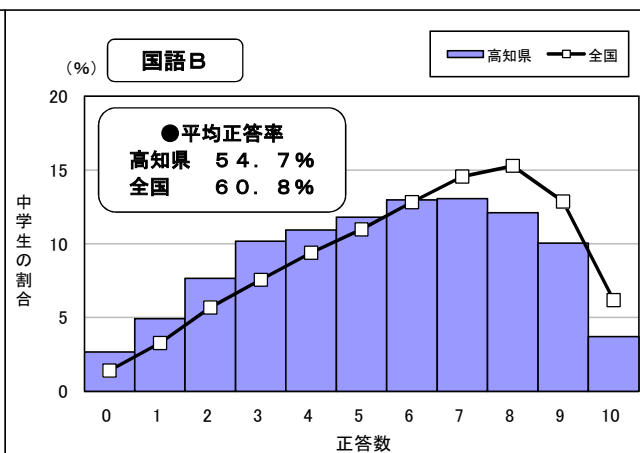
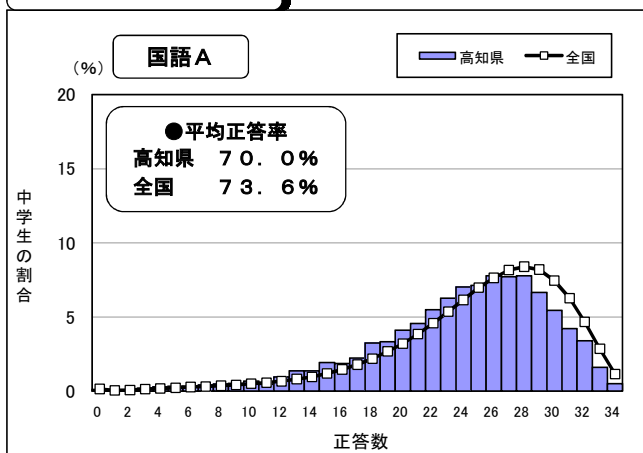
- ・資料に表れている表現の仕方の工夫を自分の表現に役立てること
- ・詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くこと

### 平成21年度

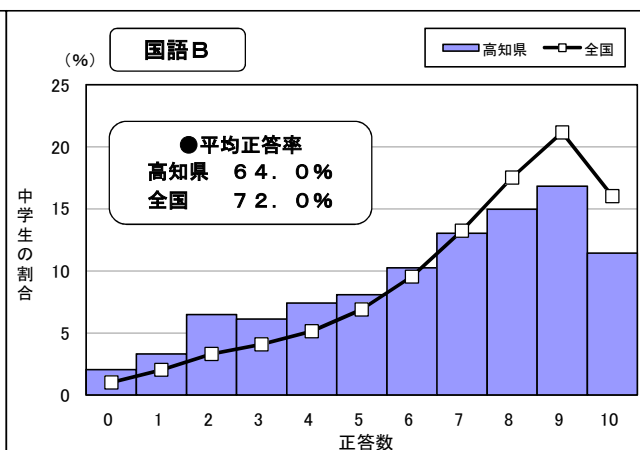
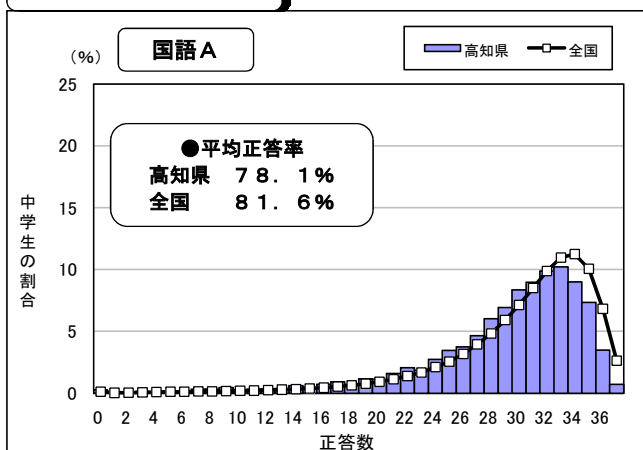


〈参考〉

### 平成20年度



### 平成19年度

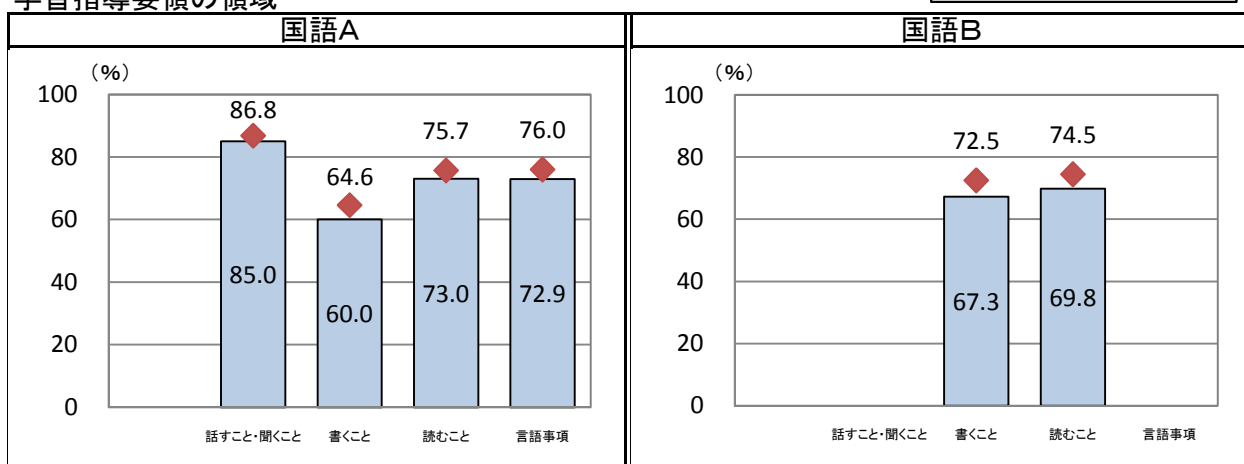


【分類・区分別の状況】

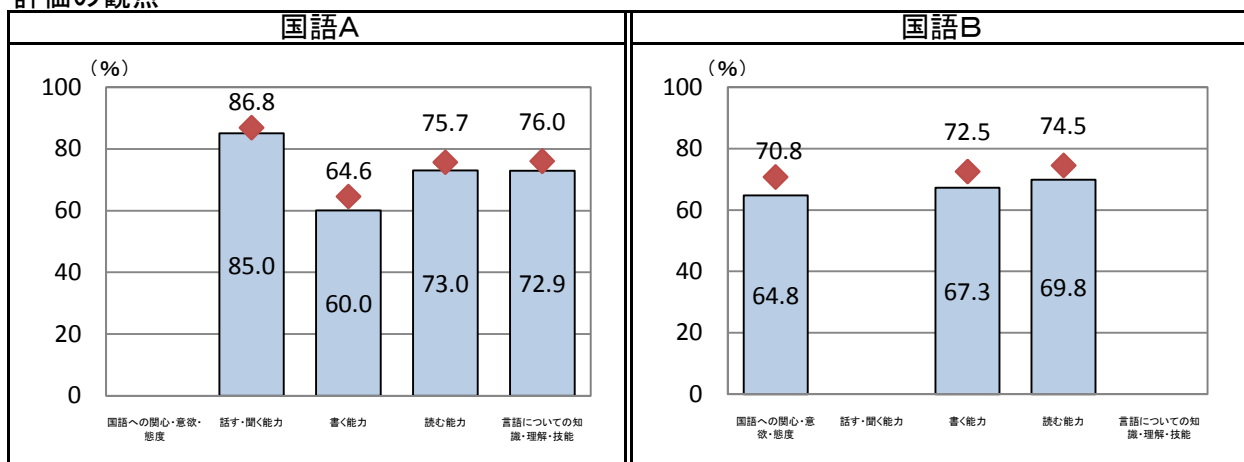
- 領域別では、国語A(知識)、国語B(活用)の「書くこと」、「読むこと」領域で平均正答率が全国より低い。
- 観点別の国語B(活用)の「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が全国平均より6.0ポイント低い。
- 問題形式別では、国語B(活用)の記述式の平均正答率が全国平均から5.2ポイント低い。

学習指導要領の領域

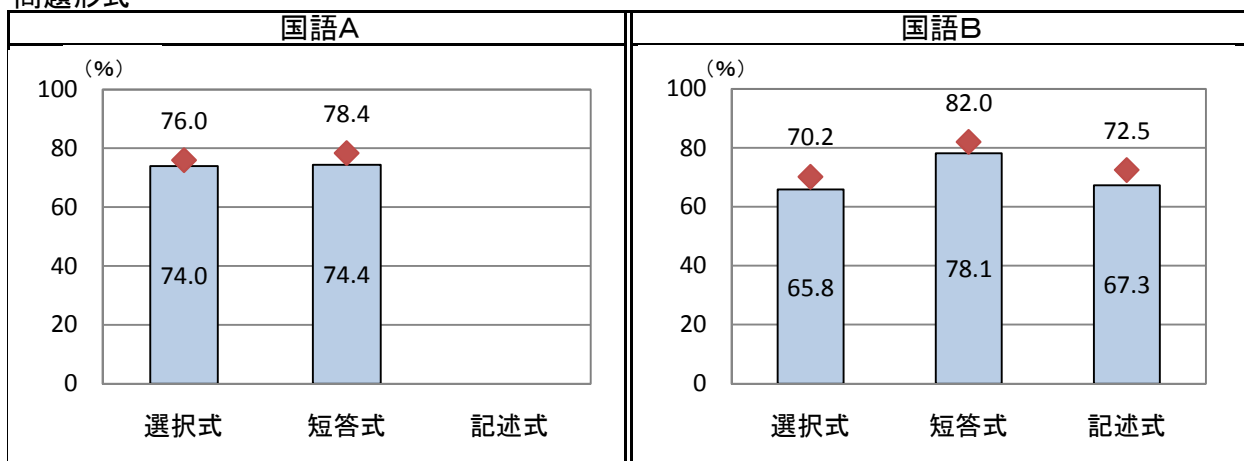
■ 21高知 ◆ 21全国



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 中学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 —全国正答率	正答率		高知県無解答率 —全国無解答率	無解答率	
						高知県	全国		高知県	全国
1一	主語に合わせて述語の部分を書き直す	書/言	書/言	短	-7.9	41.9	49.8	1.0	6.6	5.6
2一	スピーチの工夫の効果として適切なものを選択する	話	話	選	-1.9	73.9	75.8	-0.1	0.3	0.4
2二	スピーチの特徴の説明として適切なものを選択する	話	話	選	-1.4	86.7	88.1	-0.1	0.3	0.4
3一	物語の展開の順番どおりに出来事を並び替える	読	読	短	-0.9	88.6	89.5	0.2	0.7	0.5
3二	僕とカムパネルラが知っていることの説明として適切なものを選択する	読	読	選	-2.4	82.8	85.2	0.3	1.5	1.2
3三	先生の質問に答えなかったカムパネルラが、僕のことをどう思っていると考えたか書かれている部分を本文中から抜き出す	読	読	短	-1.6	82.5	84.1	1.2	11.9	10.7
4一	先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる	話	話	短	-2.4	90.3	92.7	0.3	1.2	0.9
4二	足りない情報を得るための質問として適切なものを選択する	話	話	選	-1.7	89.2	90.9	0.0	0.6	0.6
5一	提案するときに根拠にする意見として適切なものを選択する	書	書	選	-4.3	70.9	75.2	0.1	0.7	0.6
5二	提案するときにある意見を取り上げて書く理由として適切なものを選択する	書	書	選	-1.4	67.3	68.7	0.3	1.2	0.9
6一	目次の特徴とそれを使ってできることの説明として適切なものを選択する	読	読	選	-5.1	80.3	85.4	-0.1	0.5	0.6
6二	調べたい事柄が書かれている章を選択する	読	読	選	-2.6	78.6	81.2	-0.2	0.4	0.6
7一	短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れめを付けたものとして適切なものを選択する	読	読	選	-2.9	26.0	28.9	-0.1	0.7	0.8
7二	短歌について書かれた文章の空欄に当てはまるものとして適切なものを選択する	読	読	選	-1.7	81.9	83.6	-0.2	0.7	0.9
7三	短歌の内容について適切なものを選択する	読	読	選	-3.2	74.7	77.9	-0.1	0.9	1.0
8一1	漢字を書く(世界イサンを見学する)	言	言	短	-8.4	66.8	75.2	3.7	11.9	8.2
8一2	漢字を書く(ジヤクを使って方位を調べる)	言	言	短	-5.8	78.2	84.0	3.3	9.6	6.3
8一3	漢字を書く(燃料をオギナウ)	言	言	短	-8.0	45.7	53.7	4.7	27.3	22.6
8二1	漢字を読む(空気の抵抗がある)	言	言	短	0.0	98.2	98.2	0.0	1.4	1.4
8二2	漢字を読む(ピアノで伴奏をする)	言	言	短	-1.8	87.1	88.9	0.5	2.5	2.0
8二3	漢字を読む(真実に迫る)	言	言	短	-1.4	89.6	91.0	0.4	3.9	3.5
8三ア	適切な語句を選択する(急いでいるときは、靴をはくのももどかしい)	言	言	選	-2.2	47.1	49.3	0.1	1.5	1.4
8三イ	適切な語句を選択する(鬼をおいほうならわしは、今でも続いている)	言	言	選	5.9	76.9	71.0	-0.3	0.6	0.9
8三ウ	適切な敬語を選択する(お客様、どうぞその洋服をおめしになってください)	言	言	選	-1.2	84.7	85.9	-0.2	0.7	0.9
8三エ	適切な同音異義語を選択する(調査結果について、報道機関に対して説明する)	言	言	選	-4.2	70.5	74.7	-0.2	0.9	1.1
8三オ	適切な接続詞を選択する(たとえそうであっても)	言	言	選	0.5	92.7	92.2	-0.2	1.0	1.2
8三カ	適切な同音異義語を選択する(来賓のシュクジは、特に印象に残っている)	言	言	選	4.2	76.6	72.4	0.0	1.8	1.8
8四	意味は変えずに、主語を変えて書き換える	言	言	短	-5.2	77.4	82.6	0.7	3.6	2.9
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(むかひて)	読	読	短	-4.2	71.7	75.9	0.4	4.0	3.6
8五2	「徒然草」中の語句の訳を抜き出す(よしなしごと)	読	読	短	-2.4	62.6	65.0	0.6	6.9	6.3
8六	先生の助言を生かして書き直したものを選択する	言	言	選	-6.4	71.0	77.4	-0.1	1.0	1.1
8七	国語辞典で調べたことをもとに、語句の意味を書く	言	言	短	-6.0	60.7	66.7	4.6	21.3	16.7
8八	国語辞典の説明から分かることを選択する	言	言	選	-5.5	74.1	79.6	0.0	1.6	1.6

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 —全国正答率	正答率		高知県無解答率 —全国無解答率	無解答率	
						高知県	全国		高知県	全国
1一アイ	子ども図書館案内図を見て、特定の本を借りるために行くべき場所を選択し、その場所に行く理由を書く	書/読	書/読	記	-2.4	77.2	79.6	0.3	1.2	0.9
1二	子ども図書館案内図にみられる工夫として当てはまらないものを選択する	読	読	選	-5.0	67.8	72.8	0.0	0.6	0.6
1三ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く	書/読	関/書/読	記	-4.1	55.0	59.1	3.5	10.6	7.1
1三イ	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の受付カウンター役割の説明文を書く	書/読	関/書/読	記	-4.3	72.3	76.6	3.3	10.1	6.8
2一	本文の第一段落の役割について述べたものとして適切なものを選択する	読	読	選	-6.0	66.1	72.1	0.0	0.7	0.7
2二	本文の内容を適切にとらえ、発光ダイオードの特徴を箇条書きで三つ以上書く	書/読	関/書/読	記	-6.9	59.5	66.4	6.1	19.2	13.1
2三	資料の図が、文章のどの部分を補足しているかについて、文章中から抜き出す	読	読	短	-6.8	57.2	64.0	5.3	23.1	17.8
3一A	表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す	読	読	短	-2.5	88.9	91.4	2.2	6.8	4.6
3一B		読	読	短	-2.4	88.2	90.6	2.2	6.8	4.6
3二	ひとまとまりのものとしてとらえた複数の連の内容について適切なものを選択する	読	読	選	-2.1	63.6	65.7	0.5	1.7	1.2
3三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く	書/読	関/書/読	記	-8.5	72.3	80.8	1.4	5.7	4.3

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率、または全国無解答率より5ポイントをこえて高い無解答率

【課題】

- 文章の構造や表現の仕方をとらえながら読み、自分の表現に役立てるなど、目的や意図に応じて読む力が19、20年度同様に身に付いていない。
- 必要な情報を取り出し、自分の考えが的確に伝わるように根拠を明らかにして書いたり、論理の展開を工夫して書いたりすることが19、20年度同様に身に付いていない。
- 漢字や語句を文脈に即して使ったり、文法や書写の学習内容を実際の場面で活用したりする力が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容 [ ]設問番号>

話し・聞く	◇ 効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫すること、話の内容から必要な情報を的確に聞き取ることは、相当数の生徒ができている。 [A2二、A4一]
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主語（主部）に対応させて述語（述部）を適切に書くことに課題がある。 [A1一]</li> <li>◆ 資料に表れている工夫を自分の表現に役立てること、文章から読み取った情報を簡潔にまとめて書くことに課題がある。 [B1三ア、B2二]</li> <li>◆ 自分の考えを相手に効果的に伝えるために、根拠や理由を明らかにして書くことに課題がある。 [A5二、B3三]</li> </ul>
読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 文学的な文章の内容を展開に即してとらえることは、相当数の生徒ができている。 [A3一]</li> <li>◇ 詩の中の語句に注意し、その効果的な使い方に気付くことは、相当数の生徒ができている。 [B3一]</li> <li>◆ 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむことに課題がある。 [A7一]</li> <li>◆ 説明的な文章と補助資料とのかかわりを理解することに課題がある。 [B2三]</li> <li>◆ 文章の表現の工夫や段落の役割をとらえ、読むことに課題がある。 [B1二、B2一、B3二]</li> </ul>
言語事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 文脈に即して漢字を正しく読むことは、相当数の生徒ができている。 [A8二]</li> <li>◆ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。 [A8三ア]</li> <li>◆ 辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことに課題がある。 [A8七]</li> </ul>

【正答率が高い問題】

A8二1	漢字の読み(抵抗)	[98.2%]
A8三オ	接続詞の選択	[92.7%]
A4一	情報を的確に聞き取る	[90.3%]
A8二3	漢字の読み(迫る)	[89.6%]
A4二	適切な質問を選択	[89.2%]

【正答率が低い問題】

A7一	短歌の意味のまとまりをつかむ	[26.0%]
A1一	主述を対応させて書く	[41.9%]
A8一3	漢字の書き(おぎなう)	[45.7%]
A8三ア	適切な語句の選択	[47.1%]
B1三ア	表現の工夫を生かし見出しを書く	[55.0%]

## 指導改善のポイント 中学校

### 【話すこと・聞くこと】

- 自分の考えを的確に話したり、情報を的確に聞き取ったりする指導の継続
  - ・自分の考えを的確に話す力を身に付けるために、聞き手の反応を考えた話し方や、聞き手の理解を助けるような話の展開の仕方を考えさせることが大切である。
  - ・情報を的確に聞き取る力を身に付けるために、情報に不足がないかを判断させたり、必要に応じて質問させたりするなど、具体的な言語活動を通して指導することが大切である。

### 【書くこと】

- 書いた文章を推敲する態度や方法を身に付ける指導の工夫
  - ・読みやすく分かりやすい文章を書く力を身に付けるために、書いた文章を読み返す機会を学習に位置付けて、推敲することが習慣になるよう指導する必要がある。その際、書いた文章を学習のねらいに即した観点で推敲したり、互いに読み合って評価・批評したりする学習を位置付ける。
- 資料に表れている工夫を、自分の表現に活用する言語活動の工夫
  - ・目的や意図に応じて書く力を身に付けるために、案内や報告をする文章を書く際に本や新聞、パンフレットなど、それぞれの資料の特性を考えながら、表現の工夫を自分の表現に活用する場面を設定することが大切である。
- 読み取った情報を簡潔にまとめて書く指導の工夫
  - ・情報を活用する際には、読み取った情報を分類したり整理したりする必要がある。そのためには、一つ一つの情報を箇条書きで書かせたり、必要に応じて短い言葉でまとめて書かせたりする指導が重要である。

### 【読むこと】

- 漫然とただ文章を読むのではなく、「何のために読むのか、読んでどうするのか」という目的意識をもち、主体的に文章を読もうとする態度の育成
- 短歌の形式に従って内容を理解する指導の工夫
  - ・短歌に表れている内容を理解するために、言葉のつながりや意味のまとまりに着目して句の切れめを考えさせ、構造をとらえさせることが大切である。なお、近・現代短歌や俳句に用いられる文語表現に関心をもたせることも大切である。
- 文章と補助資料とのかかわりをとらえて内容を読み取る言語活動の工夫
  - ・書かれている内容をより深く理解するために、文章と図表などの補助資料との関連を考える必要がある。図表に対応している部分を指摘したり、図表を使って文章の要点を説明したりする学習を計画的に設けることが大切である。

### 【言語事項】

- 言語への関心を高め、言語感覚を豊かにする指導の工夫
  - ・言葉への関心を高め、言語感覚を豊かにするために、国語辞典や漢和辞典を身近に置き、なじみの薄い語句や使用頻度の低いと思われる漢字などを積極的に調べる機会を意図的に設ける必要がある。その上で、調べたことを話す・聞く・書く・読むという言語活動に生かしていくようにさせることが重要である。



【指導改善例】

設問別分析①	中学校国語A問題	8	七 言語事項など(辞書の活用)
<p style="text-align: right;">七 林さんは、本を読んでいて次の文の―――部分が「善後策を講じる」の意味が分からなかったため、国語辞典で調べました。あとの【国語辞典】に載っている「善後策」と「講じる」を説明している言葉それぞれを使って、「善後策を講じる」の意味を書きなさい。ただし、「講じる」については①と②のどちらか一方の説明を選び、その言葉を使いなさい。</p> <p style="text-align: right;">【辞んでいた本の一部】</p> <p style="text-align: right;">県大会の本部は、渋滞でバスが遅れたため、善後策を講じることにした。</p> <p style="text-align: right;">【国語辞典】</p> <p style="text-align: right;">①「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">②「講じる」(他動)「上」段。専門的な内容を講義する。「歴史を講じる」</p> <p style="text-align: right;">③「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">④「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑤「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑥「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑦「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑧「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑨「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑩「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑪「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑫「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑬「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑭「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑮「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑯「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑰「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑱「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑲「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">⑳「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉑「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉒「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉓「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉔「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉕「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉖「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉗「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉘「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉙「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉚「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉛「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉜「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉝「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉞「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㉟「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊱「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊲「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊳「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊴「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊵「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊶「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊷「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊸「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊹「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊺「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊻「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊼「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊽「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊾「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p> <p style="text-align: right;">㊿「講じる」(他動)「上」段。起きましたことごとく、うまくおさめるための方法。「善後策を講じる」</p>			

《出題の趣旨》

辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

言語事項(1)(第2学年及び第3学年)

イ 慣用句、類義語と対義語、同音意義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意すること。

→新学習指導要領

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(第2学年)

イ (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(第3学年)

イ (イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。

《解答類型と反応率(%)》

解答類型		高知県(%)	全国(%)	正答
「善後策を講じる」の意味を書いている。 (条件)				
① 【国語辞典】の、「善後策」を説明している言葉と「講じる」の②を説明している言葉を使って書いている。				
② 「善後策を講じる」の意味を適切に書いている。 (正答例)				
・ 起きてしまったことをうまくおさめるために、手段を考えて実行すること。				
1	条件①、②を満たして解答しているもの	60.7	66.7	◎
2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	8.6	8.5	
3	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	0.1	0.2	
9	上記以外の解答	9.3	7.9	
0	無解答	21.3	16.7	

《結果分析》

○ 本設問は、辞書における「善後策」と「講じる」の意味を用いて、「善後策を講じる」の意味を適切に書くものであり、正答率は60.7%である。無解答率は21.3%であり、全国と比べて4.6ポイント高い。複数の語の意味を的確に合わせて理解することに対応できず、記述に至らなかったものと考えられる。



授業改善のポイント



語句の意味や言葉の使い方に疑問を感じたとき、また、新しい言葉に出会いたいとき、辞書をどれだけ活用しようとしているのか生徒の実態を把握し、辞書の活用の習慣化を図る。



三領域の指導においてもなじみのうすい語句が出てきた時には、漢字の意味を手がかりに語句の意味を推測してから辞書で調べさせたり、辞書にある意味を文脈に即した形で別の言葉に言い換えさせたりして、生徒の語彙に対する意識を高める。



教科書教材として扱う文章の中にある語彙だけでなく、読書活動なども併せて、あらゆる場面でより多くの語句や語彙と出合わせ、社会生活の中で使われる語句に関心を向けさせる。

授業開きで辞書を活用する



例1 好きな言葉を国語辞典、漢和辞典などを使って調べ、その好きな理由を関連付けて自己紹介文を書く。

※ 今年目標を「漢字一字」で書くなどの取組も考えられる。

例2 日々の読書活動等を通して、「いつかは使ってみたい言葉」を1年間、ノートに書きため日常生活の中で意識して使っていく。

国立教育政策研究所教育課程研究センター『授業アイデア例』参照

【留意点】

年度当初に生徒の実態を把握し、年間を通して、辞書の活用をはたらきかける。



ノート例

①いつかは使ってみたい言葉  
〔不言実行〕  
・言葉の意味  
あれこれ言わず善いと信  
ずるところを黙って実行  
すること。  
・使った日  
十一月五日

②いつかは使ってみたい言葉  
〔 〕  
・言葉の意味  
・使った日

辞書を活用して、作品の読みを深める（「走れメロス」より）



- ① 学習目標と学習の流れを確認する。
  - ・作品中の言葉に注目して文章を読み味わうことを確認する。
- ② 「潺潺」・「こんこん」の擬態語の意味を前後のつながりから推測する。
- ③ 辞書を使って意味を調べ、文脈に即して自分の言葉で説明させる。
- ④ メロスの気持ちの変化を「潺潺」・「こんこん」のこぼれを用いて文章にする。

新聞や書籍・雑誌など、様々な文章を読み、語彙に対する意識を高める



- 例1 話題の記事等から、そこで多く使われている言葉を調べ、分類する。  
(例 ポジティブな言葉とネガティブな言葉)
- 例2 専門用語などの日常的に聞き慣れていない言葉を辞書で調べ、分かりやすい内容に書き換える。
- 例3 興味のある分野（スポーツ、政治・経済、医療、福祉など）や事柄に多く使われている言葉に注目して、「自分の辞書」を作る。

【留意点】

- ・発表する機会を設ける。
- ・単元などに計画的に位置付け、計画的に指導していく。
- ・家庭学習との関連も図る。



【指導改善例】

設問別分析② 中学校国語B問題 3 三 詩を味わう

図次のページは、下書き用の枠があります。

【設問】

「空がしみたのであろうか」

【写真】

ア

イ

ウ

エ

オ

条件① その写真と組み合わせ理由を分るよう、詩と選んだ写真を関連付けて書くこと。  
 条件② 詩の中の言葉を使って書くこと。  
 条件③ 縦用紙がけられている後の文に横線を引くこと。六十文字、六十文字以内で書くこと。  
 条件④ 詩を三行以上引用し、詩と選んだ写真を関連付けて書くこと。  
 条件⑤ 60字以上、90字以内で書いている。

《出題の趣旨》

詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

- B 書くこと(第2学年及び第3学年)
  - エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。
    - 一新学習指導要領
      - B 書くこと(第2学年)
        - ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
      - B 書くこと(第3学年)
        - イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
  - C 読むこと(第2学年及び第3学年)
    - オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。
      - 一新学習指導要領
        - C 読むこと(第2学年)
          - オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。
        - C 読むこと(第3学年)
          - オ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。

《解答類型と反応率 (%)》

解答類型	高知県 (%)	全国 (%)	正答
問題に示された条件にしたがって、詩と組み合わせる写真を選び、その写真と組み合わせる理由を書いている。(条件)			
① アからオまでのいずれか一枚の写真を選んでその記号を書いている。			
② 「だから、私はこの写真と組み合わせます。」に続くように、整った文章で書いている。			
③ 組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書いている。			
④ 詩の中の言葉を使って書いている。			
⑤ 60字以上、90字以内で書いている。			
(正答例)・ア 私はこの詩の「空がしみたのであろうか」や「枝先は空に溶けている」といった表現が印象に残りました。アの写真は木の枝先と空が写っていて、この詩に合うと思います。(だから、私はこの写真と組み合わせます。)			
1 条件①、②、③、④、⑤を満たして解答しているもの	72.3	80.8	◎
2 条件①、②、③、④を満たし、条件⑤を満たさずに解答しているもの	2.1	1.9	
3 条件①、②、③、⑤を満たし、条件④を満たさずに解答しているもの	0.1	0.1	
4 条件①、②、④、⑤を満たし、条件③を満たさずに解答しているもの	1.7	1.3	
5 条件①、③、④、⑤を満たし、条件②を満たさずに解答しているもの	0.0	0.0	
6 条件②、③、④、⑤を満たし、条件①を満たさずに解答しているもの	0.1	0.1	
9 上記以外の解答	18.1	11.5	
0 無解答	5.7	4.3	

《結果分析》

- 本設問は、詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くものである。正答率は72.3%であり、記述式設問では過去2年間と比較して高い正答率となっているが、全国との比較においては、まだ課題がある。
- 誤答についてみると、解答類型9の反応率が18.1%である。これは、複数の条件を満たさずに解答していると考えられる。

詩の表現や構成の工夫を踏まえて読み、鑑賞したことを書こう

第1学年「交響楽」(東京書籍「新しい国語1」)

授業改善のポイント



- 鑑賞文とはどういうものかを理解させ、鑑賞文の特徴や書き方を考えさせてから書かせるようにする。
- 文章を書く際に、書く目的や意図に応じて集めた材料を整理し、文章構成を考え、根拠を明確にして書けるように指導する。

授業では

学習の見通しをもち、鑑賞文について知る

- ① 「交響楽」を音読し、初発の感想を書く。
- ② 音楽や美術の授業などで鑑賞文を書いた経験を振り返る。好きな詩の鑑賞文を書き、文集を作るという学習の見通しをもつ。
- ③ モデルとなる鑑賞文を読んで、鑑賞文の特徴をとらえる。(→「学習の手引き」に反映)
  - ※ 具体的にどのようなことが書かれているか、①で書いた感想との違いは何かなどを視点に考えさせる。
  - ※ 鑑賞文によって、表現の効果や作者の思いなどについて読みが深まること(鑑賞文を書くことの意義)に気付かせる。



第1学年「B書くこと」《言語活動例ア》  
関心のある芸術的な作品などについて、  
鑑賞したことを文章に書く

「鑑賞」とは、表現の仕方、内包されている意思などについて、多様な角度から光を当てて、そのよさを見極めたり味わったりすることである。したがって、「鑑賞したことを文章に書く」時には、対象や素材の表現の仕方、作り手の思いや見方、作品から受けた印象や感動などについて触れることが大切である。

～『中学校学習指導要領解説国語編  
平成20年9月』より一部抜粋～

詩「交響楽」の表現や構成の特徴をとらえ、自分の考えをもつ

- ④ 初発の感想をもとに、グループで交流し、イメージをふくらませる。
  - ※ 分からない語句や比喩などの表現に着目させ、考えさせる。
- ⑤ 詩の中の表現をおさえながら、作者の伝えたいことについて根拠をもって考える。

鑑賞文を書く

- ⑥ 鑑賞文を書くために、伝えたい事実や事柄について学習の手引きを参考にしながら整理する。

**鑑賞文を書く**  
学習の手引き

整理しましょう

一 鑑賞文を書く材料を整理しましょう

二 構成を考えましょう

さらに深く考えるために、  
●時代背景  
●作者の置かれていた状況  
などを調べてみましょう。

・・・・などについて、理由を明らかにして考えましょう。

- 作品を読んで、一番印象に残ったのはどんなことですか。
- 工夫された表現、効果的な表現はどこですか。
- 作者はどんな気持ちでいますか。
- 作者はどんなことを伝えようとしていますか。(主題)
- 作品のよさ(魅力)はどんなところですか。



【留意点】

詩の「鑑賞文を書く」際には・・・

新学習指導要領の第1学年「読むこと」には、Cエ「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ」指導事項がある。鑑賞文を書かせる際には、このような「読むこと」の指導との関連を図ることに留意したい。

文章についての単なる印象にとどまるのではなく、その文章の構成や展開、表現の特徴を分析的にとらえながら読み、その工夫や効果について自分の考えをもつことが、鑑賞文として書き表すことにつながるのである。

- ⑦ モデル文も参考にしながら、鑑賞文を書く。

鑑賞文を読み合い、自分の表現に役立てる

- ⑧ 発展学習につなげるために、お互いの考えや表現の仕方を交流する。
  - ※ 作品の見方や感じ方の違い、自分の考えを伝えるための理由や根拠の示し方などを参考にさせる。



発展：自分の好きな詩の鑑賞文を書き、紹介し合う

- ⑨ 自分の好きな詩を選び、鑑賞文を書き、紹介し合い、文集にする。

### 3 質問紙調査より【小学校・中学校国語】

#### 全国学力・学習状況調査における本県の国語の課題に関連するものについて

- ◆ 全国学力・学習状況調査において見られる本県の国語の学力の課題に関連する学習活動を、国語の授業で意識して行っている小・中学生の割合が低いことに課題がある。
- ◆ 全国学力・学習状況調査において見られる本県の国語の学力の課題に関連する国語の授業を積極的に行っている小・中学校の割合が低いことに課題がある。
  - ➡ 学習指導要領国語を踏まえ、学習目標・内容を明確にして、意図的に指導する授業に改善する。その際、小・中学生が、その学習目標・内容を意識して言語活動を行うとともに、行った言語活動を振り返ることもできるよう工夫する。

#### 「読むこと」に関して

##### [本県の国語の課題より]

###### 小学校

- ◆ 目的や意図に応じて、文章の内容や筆者の考えを的確に押さえて読む。
- ◆ 目的や意図に応じて、文章の表現の工夫をとらえて読む。

###### 中学校

- ◆ 目的や意図に応じて読む力。
  - ・ 表現の仕方や文章の特徴をとらえながら読み、自分の表現に役立てる。
  - ・ 必要な情報を取り出す。

##### [肯定群の割合]

※「肯定群」…「当てはまる、あるいは、どちらかといえば当てはまる」

##### 児童生徒質問紙調査

( )内は、「当てはまる」の数値

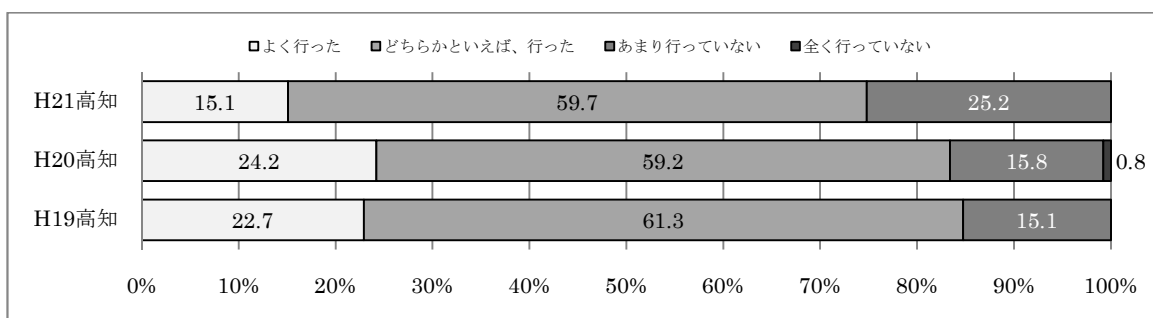
質問	小学生		中学生	
	本県	本県-全国	本県	本県-全国
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている 【質問 57】	53.0% (15.6%)	-3.0 (+0.1)	38.4% ( 8.8%)	-3.4 (-0.8)
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる 【質問 60】	70.3% (30.0%)	-0.5 (+0.4)	58.2% (18.1%)	-2.5 (-0.6)

##### 学校質問紙調査

( )内は、「当てはまる」の数値

質問	小学校		中学校	
	本県	本県-全国	本県	本県-全国
国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか 【質問 60】	86.0% (19.2%)	+2.7 (-1.8)	74.8% (15.1%)	-7.9 (-6.6)

##### 《平成19～21年度の経年比較》中学校



- ◆ 国語の授業において、目的に応じて読んだり、段落や話のまとめりごとに内容を理解したりしながら読んだりする学習活動を、意識的に行っている小・中学生の割合が低いことに課題がある。
- ◆ 「国語の指導として様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか」に対する肯定群の小学校は全国とほぼ同じであるが、「当てはまる」は19.2%にとどまっていることや、中学校の肯定群は全国より7.9ポイント下回り、「当てはまる」は15.1%にとどまっていることに課題がある。また、中学校は20年度に比べ、肯定群が8.6ポイント減少していることの要因を検討する必要がある。

## 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に関して

### [本県の国語の課題より]

#### 小学校

- ◆ 目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫して話す力。
- ◆ 自分の考えを明確に表現するために必要な事柄を整理して、事象や意見などを関係付けて書く力。

#### 中学校

- ◆ 自分の考えが的確に伝わるように根拠を明らかにして書いたり、論理の展開を工夫して書いたりすること。

### [肯定群の割合]

#### 児童生徒質問紙調査

( )内は、「当てはまる」の数値

質問	小学生		中学生	
	本県 ( )	本県-全国 ( )	本県 ( )	本県-全国 ( )
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している 【質問 58】	54.9% (15.9%)	-1.4 (-0.9)	36.9% ( 8.0%)	-2.4 (-0.2)
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている 【質問 59】	65.8% (25.1%)	-0.4 (+0.5)	51.1% (13.2%)	-4.0 (-1.6)

#### 学校質問紙調査

( )内は、「当てはまる」の数値

質問	小学校		中学校	
	本県 ( )	本県-全国 ( )	本県 ( )	本県-全国 ( )
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか 【質問 58】	84.3% (15.3%)	-3.2 (-7.5)	72.3% (16.0%)	-3.8 (-0.5)

- ◆ 国語の授業で、うまく伝わるように話の組み立てを工夫したり、考えの理由が分かるように気をつけて書いたりする学習活動を、意識的に行っている小・中学生の割合が低いことに課題がある。
- ◆ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか」の肯定群の小・中学校の割合が、全国より3ポイント以上下回っており、「当てはまる」の小・中学校の割合も低いことに課題がある。



## 肯定群の回答が、全国より下回っているものについて

- ◆ 「国語の勉強は大切だ」、「国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」など、国語の学習の有用感に関する質問に「当てはまる」中学生の割合が、全国より4ポイント以上下回っていることに課題がある。
- ◆ 「国語の授業の内容はよく分かりますか」に「当てはまる」中学生の割合が、17.4ポイントにとどまっていることに課題がある。
- ◆ 「国語の勉強は好きですか」に「当てはまる」小・中学生の割合が低いことに課題がある。  
 ⇨ 学習指導要領国語を踏まえ、学習目標・内容を明確にした授業への改善が必要。  
 その際、小・中学生が自分の言語活動を振り返り、学習目標・内容に照らして学習の成果をかめる機会を設定し、達成感や学習の有用感を感じ、学習意欲を高めることができるよう工夫する。

### 【肯定群の割合】

#### 児童生徒質問紙調査

( )内は、「当てはまる」の数値

質問	小学生		中学生	
	本県	全国一本県	本県	全国一本県
国語の勉強は好きですか 【質問 52】	55.6% (21.7%)	-2.7 (+0.1)	53.8% (17.6%)	-2.9 (-2.0)
国語の授業の内容はよく分かりますか 【質問 54】	77.6% (33.2%)	-2.4 (-1.9)	65.8% (17.4%)	-3.0 (-2.1)
国語の勉強は大切だ 【質問 53】	88.4% (58.0%)	-1.9 (-2.6)	84.1% (43.1%)	-3.5 (-6.3)
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ 【質問 56】	84.5% (48.9%)	-0.6 (-0.1)	76.1% (31.7%)	-2.3 (-4.1)

## 指導の改善が学習状況の改善に現れた例について

- 国語の授業として、積極的に指導の改善をしたことについては、小・中学生の学習意欲の向上につながっていることが推測される。

### 「書くこと」に関して

#### 児童生徒質問紙調査

質問と選択肢	中学生：本県		
	21年度	20年度	21年度－20年度
解答を文章で書く問題について、どのように回答しましたか 【質問 62】 選択肢：すべての問題で最後まで解答を書こうと努力した	63.8%	56.7%	+7.1

#### 学校質問紙調査

質問と選択肢	中学校：本県		
	21年度	20年度	21年度－20年度
国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか 選択肢：よく行った 【質問 59】	26.9%	23.3%	+3.6